

EVENT

# 平塚大門通り ぼんぼり市・大門市

「平塚八幡宮の参道」及び「平塚における市の発祥地」としての大門通りの認知と活性化を目的に、大門通りに屋台が連なる。ぼんぼり市は平塚八幡宮の行事「ぼんぼりまつり」が開催される9月中旬の夜、大門市は11月の最終週末の日中に開催。

開催情報は公式HPにて→  
<http://www.hiratsuka-daimon.net>



### ▶ 平塚八幡宮

古くは仁徳天皇の時代、大地震による人民の苦難を憂えた天皇が応神天皇をお祀りされたのが創祀という神社。江戸時代には東海道道中の旅人が安全を祈り、大いに栄えたそう。大きな鳥居と緑に囲まれた境内では、穏やかな気持ちになります。



### 御刃物処 榊屋(刃物)

榊屋誂え(あつらえ)の庖丁は黒打ち仕上げ※が特徴。研ぎ方のポイントを教えてもらえるのは、刃付師のご主人ならではの。  
※黒打ち仕上げ: 刃の全てを磨き上げず、黒い部分をあえて残す仕上げ方法。錆に強く、無骨な独特の風合いが特徴。



街の人と一致団結して  
伝統ある通りを蘇らせます!

## 平塚大門通りオススメのお店



### ▶ 東曜工房(はんこ)

店の一角にあるハンコの制作現場には専門用具がずらり。  
全国大会での受賞歴もある匠の技と、その受賞作品が間近で見学できます。



### ▶ 平田人形専門店

(羽子板、破魔弓、ひな人形、五月人形)  
店内に並ぶ正月飾り(羽子板)の数は圧巻。博物館等の人形修復も行う技術をもつ店主さんに、節句の意味を教えてくださいました。



### ▶ 中秋蒲鉾店(さつま揚げ、蒲鉾)

接客しているのは全員女性スタッフ。  
おかみさんと若夫婦を中心に、女性ならではの心遣いと活気にあふれる店頭です。

平塚「平塚大門会」  
会長

高橋 經 祺 さん

「表参道復活！」を合言葉に  
枠を超えて広がる活性化の輪

石畳に情緒が薫る平塚八幡宮の表参道「大門通り」には、日本文化を今に伝える専門店が立ち並んでいます。この大門通りは平塚商業発祥の地として繁栄してきました。しかし、昭和30年代に国道一号の整備で神社と分断化されたことから、にぎわいに陰りを見せはじめます。「和」に通じ、雅楽、茶道や書道もこなす平塚大門会の若き会長・高橋さんも「最近、大門通りが表参道がだと知らない世代も出てきた」と危機感をつのらせます。そこで平塚大門会は「表参道に本来の活気を戻したい」と、平塚の特産品や逸品が集まる「大門市」や、平塚八幡宮と連携して大門通り一帯に提灯を灯す「ぼんぼり市」を開催。「大門通りに無関心だった街の人が、表参道を意識して主体的にイベントに関わってくれるようになった」と手心えを感じているそう。他の自治体や東海大学の協力も得られるようになり「大門市」は1日で3万人もの来場者を記録。2012年の三日日には、国道二号線の横断を試験的に実施し、表参道本来の姿を蘇らせた。「表参道復活！」は、大門通りの活性化とともに、街の人の気持ちも団結させる合言葉となっています。